

第13回がん診療連携拠点病院等の指定に関する検討会

都道府県プレゼンテーション資料等

秋田県、高知県、長崎県、千葉県



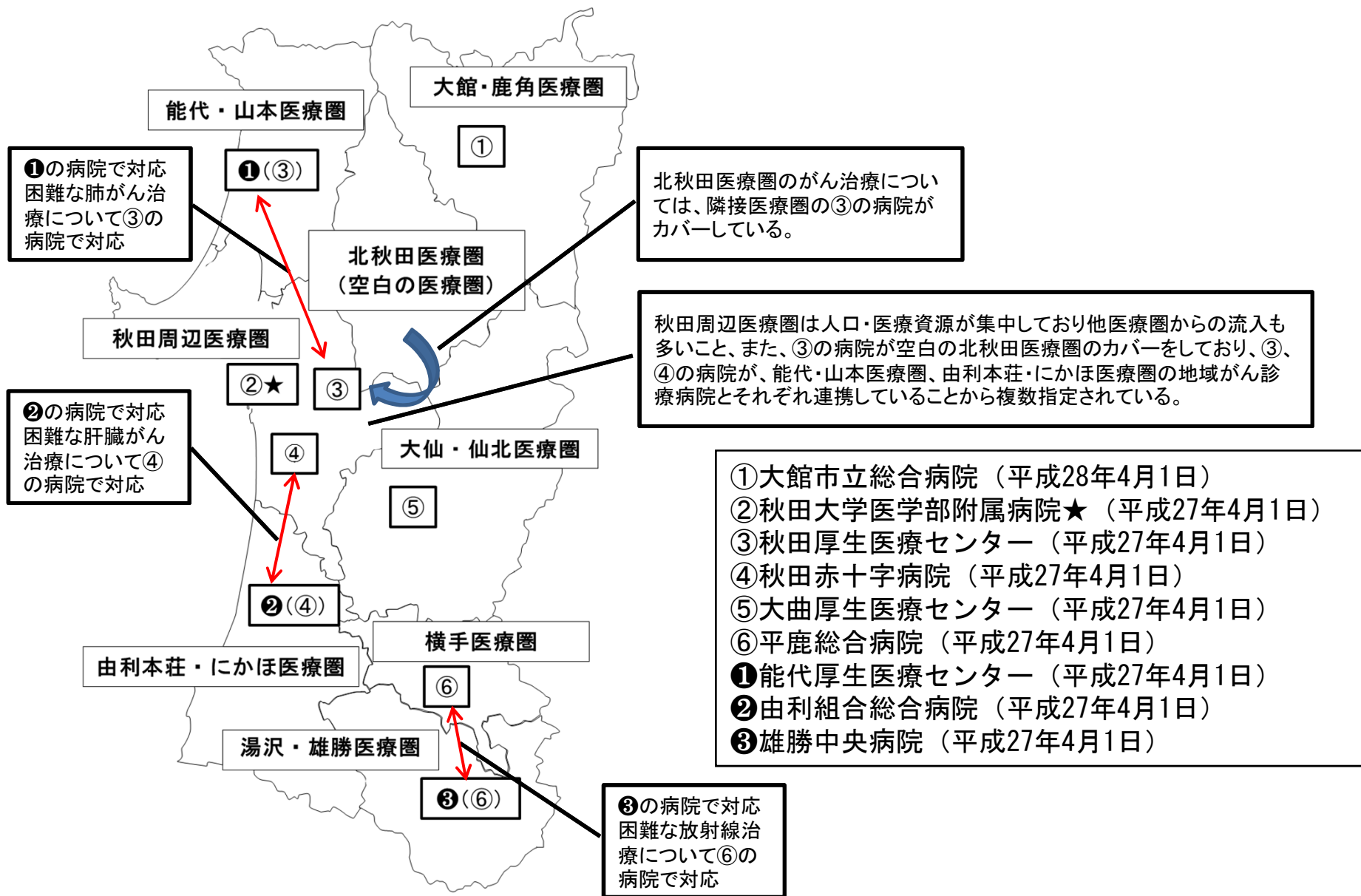
秋 田 県

# 秋田県 2 次医療圏の概要

平成29年 9 月 1 日現在

2 次医療圏名	面積 (km <sup>2</sup> )	人口	人口 割合 (%)	人口密度	病院数	がん診療連携拠点病院				地域がん診療病院		
						現況報告 病院数	今回更新 病院数	新規申請 病院数	計	現況報告 病院数	今回更新 病院数	新規申請 病院数
大館・鹿角	1845.96	108,306	10.9%	58.7	10	1	0	0	1	0	0	0
北秋田	1409.39	34,201	3.4%	24.3	2	0	0	0	0	0	0	1
能代・山本	1190.88	79,511	8.0%	66.8	7	0	0	0	0	1	0	0
秋田周辺	1693.69	393,997	39.5%	232.6	27	3	0	0	3	0	0	0
由利本荘・にかほ	1449.65	102,234	10.3%	70.5	8	0	0	0	0	1	0	0
大仙・仙北	2128.12	126,546	12.7%	59.5	8	1	0	0	1	0	0	0
横手	693.59	89,469	9.0%	129	4	1	0	0	1	0	0	0
湯沢・雄勝	1225.04	62,115	6.2%	50.7	3	0	0	0	0	1	0	0
計	11636.32	996,379	100.0%	85.6	69	6	0	0	6	3	0	1

## 秋田県 平成29年9月1日現在の指定状況と患者受療動向



# がん診療連携拠点病院及び特定領域がん診療連携拠点病院

- ・( )内は平成28年10月末日提出の数値、下段は平成29年11月末日提出の数値
- ・※1については、ESD+EMRの合計数を記載すること。

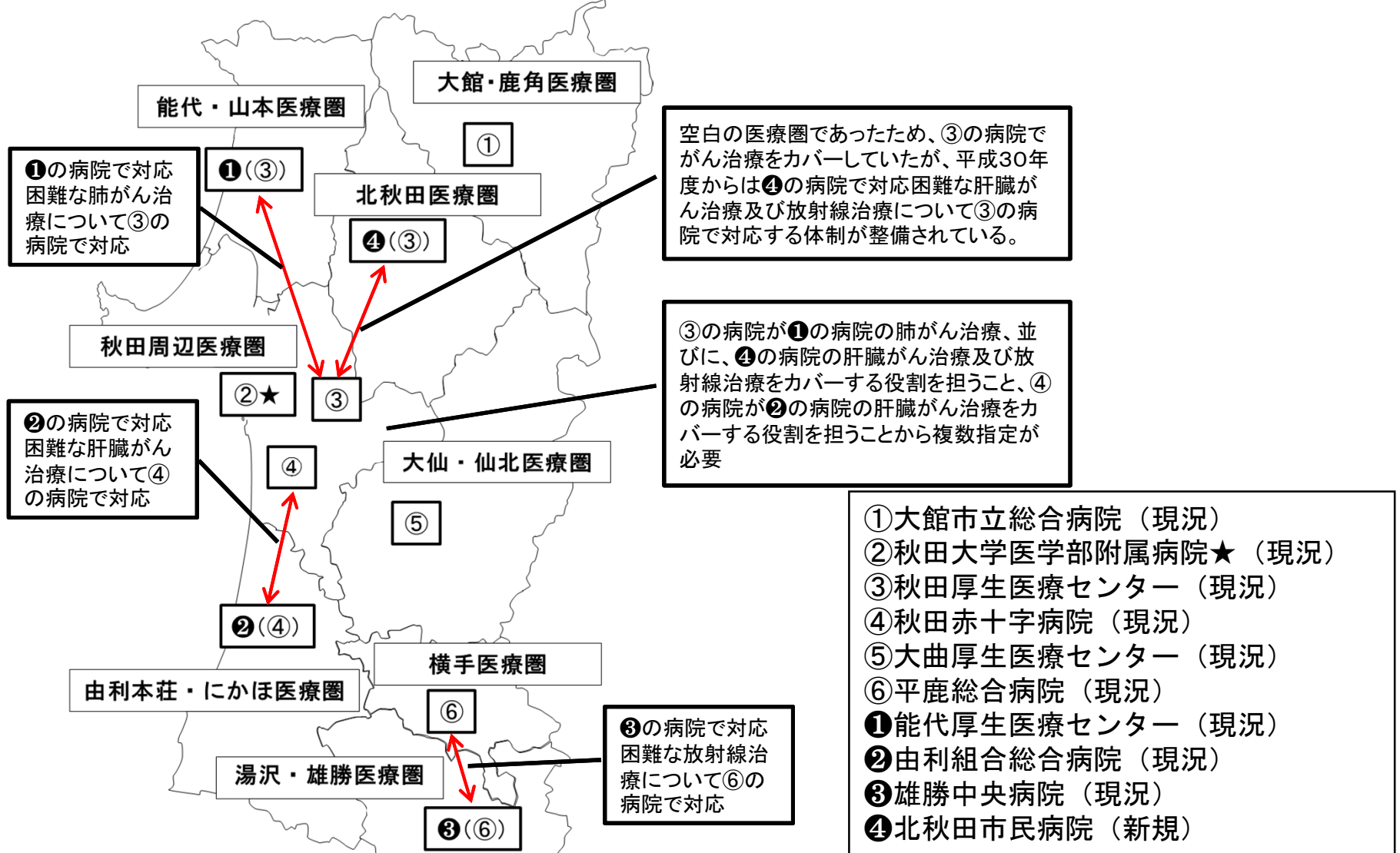
都道府県 or 地域 or 特定	申請区 分	病院名	年間入院患者数の状況		院内がん登録 数 (年間) 500件以上	悪性腫瘍の手術件数 (年間) 400件以上	手術件数 (臓器別手術件数は4ヶ月分)											がんに係る化学療法 のべ患者数 (年間) 1000人以上	放射線治療 のべ患者数 (年間) 200人以上	診療の割合 当該2次医療圏に居住するがん患者の診療の割合 2割程度	緩和ケア 緩和ケアチームに対する新規診療依頼数 (1ヶ月分)	がん相談支援センター がん相談支援センター相談件数 (2ヶ月分)			
			年間新入院がん患者数	年間新入院患者に占めるがん患者の割合 (%)			院内がん登録数 (年間)	悪性腫瘍の手術件数 (年間)	肺がん		胃がん手術			大腸がん手術			肝臓がん						乳がん 乳癌手術		
									開胸手術	胸腔鏡手術	開腹手術	腹腔鏡下手術	ESD+EMR ※1	開腹手術	腹腔鏡下手術	内視鏡手術	開腹手術							腹腔鏡下手術	ラジオ波焼灼療法
1	現況	大館市立総合病院	(1359) 1430	(20.4) 21.1	(708) 795	(470) 440	(0) 0	(6) 12	(25) 19	(0) 1	(6) 11	(26) 27	(0) 0	(4) 78	(1) 0	(0) 0	(0) 2	(8) 14	(1064) 1311	(179) 160	(53) 55	(1) 1	(709) 658		
2	★ 現況	秋田大学病院	(3275) 5404	(30.1) 47.7	(1838) 1902	(1580) 1929	(2) 9	(33) 34	(10) 5	(7) 17	(34) 22	(8) 12	(14) 6	(38) 49	(3) 12	(0) 0	(11) 10	(16) 21	(1436) 1489	(648) 653	(19) 31	(12) 12	(552) 486		
3	現況	秋田厚生医療センター	(2077) 2281	(21.7) 23.7	(881) 918	(475) 508	(2) 0	(13) 13	(15) 18	(1) 4	(22) 23	(27) 15	(17) 15	(16) 8	(2) 2	(0) 0	(3) 5	(9) 15	(721) 723	(136) 129	(18) 20	(15) 6	(151) 138		
4	現況	秋田赤十字病院	(3732) 3767	(34.7) 35.9	(1067) 1236	(809) 888	(0) 0	(18) 8	(24) 9	(8) 0	(23) 21	(13) 23	(14) 12	(37) 192	(4) 0	(0) 0	(3) 5	(53) 33	(1311) 1374	(254) 333	(27) 27	(16) 11	(116) 80		
5	現況	大曲厚生医療センター	(2707) 2940	(31.9) 34.7	(736) 885	(461) 548	(1) 0	(11) 12	(13) 11	(3) 4	(15) 11	(12) 5	(17) 9	(16) 15	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(8) 11	(1308) 1555	(175) 160	(73) 79	(17) 16	(224) 54		
6	現況	平鹿総合病院	(1606) 1556	(18.6) 18.6	(892) 945	(712) 595	(0) 0	(10) 8	(15) 16	(0) 0	(27) 13	(15) 21	(1) 1	(5) 10	(1) 0	(0) 0	(3) 1	(22) 26	(597) 629	(241) 192	(43) 40	(5) 9	(11) 35		

# 地域がん診療病院

- ・上段は平成28年10月末日提出の数値、下段は平成29年11月末日提出の数値
- ・申請区分は資料4の作成要領を参照のこと

	申請区分	病院名	年間入院患者数の状況		院内がん登録	手術件数	がんに係る化学療法	放射線治療 (実施していれば)	診療の割合	緩和ケア	がん相談支援センター
			年間新入院がん患者数	年間新入院患者数に占めるがん患者の割合(%)							
①	現況	能代厚生医療センター	(1224)	(18.1)	(595)	(281)	(527)	(147)	(45)	(6)	(20)
			1137	16.8	622	298	412	130	41	8	10
②	現況	由利組合総合病院	(1301)	(14.8)	(597)	(305)	(318)	(114)	(107)	(3)	(340)
			1418	16.2	590	348	320	149	117	0	281
③	現況	雄勝中央病院	(455)	(11.9)	(305)	(174)	(59)	-	(34)	(6)	(11)
			379	9.8	257	156	120	-	26	5	22
④	新規	北秋田市民病院	414	15.2	173	72	246	-	34	5	4

## 秋田県 平成29年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向





# 北秋田市民病院指定推薦に対する秋田県の方考え方

【現状】医療圏数：8 都道府県がん診療連携拠点病院1病院、地域がん診療連携拠点病院5病院  
地域がん診療病院3病院

## 1. 県内がん診療連携体制に関する秋田県の方考え方

- 県内の全医療圏において、がん診療連携拠点病院等の空白医療圏を解消し、県内のがん診療体制の均てん化を推進

## 2. 推薦病院の概要

- 北秋田医療圏でがん診療を実施している唯一の病院
- 平成27年から「秋田県がん診療連携協議会」に加入し、県内拠点病院等との連携を強化
- 県の体制支援等により、平成29年9月に地域がん診療病院の指定要件を達成

## 3. 推薦病院に対する県の体制支援

- 平成27年度から平成29年度まで当該病院が行う相談支援や緩和ケア等の体制整備に対し支援
- 秋田厚生医療センターとのグループ指定に係る調整を実施

## 4. 指定により期待される効果

- 北秋田医療圏に居住する県民が、住み慣れた地域でがんの集学的治療や緩和ケア、がん相談等が受けられる診療体制の構築
- 県内がん診療連携拠点病院等との連携による北秋田医療圏のがん医療の質の向上

1 趣旨

「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」（平成26年1月10日付け健発0110第7号厚生労働省健康局長通知の別添。以下「整備指針」という。）に基づき、本県における地域がん診療病院の新規指定として、次のとおり推薦する。

なお、本推薦に当たっては、秋田県がん診療連携協議会長（秋田大学医学部附属病院長）から別添のとおり意見書が提出されている。

区 分	医療圏	病院名	グループ指定病院
地域がん診療病院	北秋田	北秋田市民病院	秋田厚生医療センター

2 秋田県の現状

(1) 秋田県におけるがんの現状

本県は、高齢化率が35.5%（平成29年7月1日現在）と極めて高いこともあり、平成28年のがんによる死亡率は421.3（人口10万人対）と、平成9年以降20年連続して全国で最も高い数値となっている。

部位別では、胃、食道、胆のう、膵臓、大腸などの消化器系のがんを中心に、ほとんどのがんの死亡率が全国平均を上回っている状況にある。また、高齢化の進行により、がんの罹患者数は増加するものと予測される。

また、平成28年の75歳未満年齢調整死亡率は、87.4（人口10万人対）であり、平成7年以降減少傾向にあるが、全国値を上回る状況が続いている。

(2) 医療圏の現状

本県は、県中央部沿岸の秋田市に人口が集中しており、県北部、県南部では人口密度が低くなっている。また、面積が広いこと（11,636.32km<sup>2</sup>、東京都の5倍強）に加え、中山間地を多く抱えている。

県内には8つの二次医療圏があるが、県庁所在地の秋田市がある秋田周辺医療圏には、県人口99万6千人（平成29年9月1日現在秋田県調）の39.5%、約39万4千人が集中しており、医療基盤が集積している。

一方、その他の圏域では医師の確保が大きな課題であり、病床の減床、病棟の休止のほか、病院の再編整備も進められてきた。

こうした状況の中で、各医療圏においてがん診療の中核となる病院を位置づけ、圏域内の各医療機関との連携により地域医療の充実を図ることが極めて重要となっている。

(3) がん診療連携拠点病院等の現状

本県では、県内の医療提供体制の現状や、交通の利便性などの地域特性から、8つの二次医療圏全てに地域がん診療連携拠点病院の指定を受けた病院を整備することを

目標としており、本推薦時点で県北部の北秋田医療圏を除く7つの医療圏においてがん診療連携拠点病院または地域がん診療病院の指定を受けている。

また、人口が集中し、圏外からの患者の流入も多い秋田周辺医療圏では、市立秋田総合病院及び中通総合病院の2病院が、従来から県内のがん診療体制において重要な役割を担っており、この2病院ががん診療連携拠点病院と連携・協力することで、がん診療体制の一層の充実強化が図られるものであることから、平成22年4月1日から、この2病院を本県独自の基準を設けて「秋田県がん診療連携推進病院」として指定し、県内のがん診療連携体制の中で明確に位置付けている。

県がん診療連携推進病院は、地域がん診療連携拠点病院に準じ、診療体制の整備、地域の医療従事者を対象とした研修や相談支援、院内がん登録等の実施など、がん診療機能及び地域の医療機関との連携の強化に取り組んでおり、県としてもこれに対し必要な支援を行っている。

本県で唯一がん拠点病院等が指定されていない北秋田医療圏については、その解消を図るため、県では、平成27年度から平成29年度まで補助金を交付し、北秋田市民病院が行う相談支援や緩和ケア等の体制整備に対し支援している。また、平成27年7月から「秋田県がん診療連携協議会」に同病院が加入し、県内拠点病院との連携体制の強化に努めている。

<都道府県がん診療連携拠点病院>

医療圏	病院の名称
秋田周辺	秋田大学医学部附属病院

<地域がん診療連携拠点病院>

医療圏	病院の名称
大館・鹿角	大館市立総合病院
秋田周辺	秋田厚生医療センター
	秋田赤十字病院
大仙・仙北	大曲厚生医療センター
横手	平鹿総合病院

<地域がん診療病院>

医療圏	病院の名称
能代・山本	能代厚生医療センター
由利本荘・にかほ	由利組合総合病院
湯沢・雄勝	雄勝中央病院

<秋田県がん診療連携推進病院>

医療圏	病院の名称
秋田周辺	市立秋田総合病院
秋田周辺	中通総合病院

### 3 推薦病院について

#### (1) 北秋田医療圏

北秋田医療圏（圏域人口3.4万人）は、本県内陸北部に位置する1市1村からなる。交通においては、北秋田市鷹巣地区を国道7号線が横断し、また、国道7号線に接続する国道105号線は、北秋田市を縦断している。国道105号線に北秋田市森吉地区で接続する国道285号線は、上小阿仁村を通り、秋田市への短絡道として機能している。

圏域内の病院数は2施設であり、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査における医師数（病院従事者）は、37人となっている。

#### (2) 北秋田市民病院

北秋田市にある北秋田市民病院は、北秋田医療圏で唯一のがん診療を実施している病院である。病床数320床を備え、救急告示病院、災害拠点病院、エイズ治療地域診療病院としての機能を有しており、圏域の中核的病院としての役割を担っている。

がん診療に関しては、肝がん手術と放射線治療を除いた標準的治療を提供する体制を有し、患者調査を基にした圏域内の患者カバー率は34%に及んでいる。

また、手術や化学療法に係る数多くの実績を有するほか、日本がん治療認定医機構の認定研修施設の認定を受けるなど、教育にも積極的に取り組んでおり、県内におけるがん治療の普及とレベルアップに貢献することが期待される。

当院は地域がん診療病院の指定要件を満たしており、隣接医療圏の秋田厚生医療センターとのグループ指定により、放射線治療及び肝がんの手術や合同カンファレンス、人材交流、広報について連携して実施することを双方で合意している。なお、キャンサーボードの実施体制を整備し11月24日に自院で開催しており、推薦時点で要件を満たしている。

# 意見書

平成29年11月17日

秋田県知事 佐竹 敬久 様

秋田県がん診療連携協議会長

秋田大学医学部附属病院院長

羽 渕 友 則



平成29年10月16日付け健一1403で通知の地域がん診療病院の新規指定申請について、「がん診療連携拠点病院等の整備について（平成26年1月10日健発0110第7号厚生労働省健康局長通知）」の別添「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」に基づき、次のとおり意見書を提出します。

## 北秋田市民病院の地域がん診療病院新規指定申請について

(意見)

北秋田医療圏は国指定病院の空白医療圏でしたが、北秋田市民病院が同医療圏の中核病院としてがん診療を提供してきました。

同病院は、肝がん手術及び放射線治療を除く診療実績が十分にあり、診療体制等についても指定要件を満たすと認められることから、新たに地域がん診療病院として整備することが適当と考えられます。

また、グループ指定の組み合わせについては、患者の受療動向や交通の利便性等を勘案し、秋田周辺医療圏の地域がん診療連携拠点病院である秋田厚生医療センターとのグループ指定を受け、主に肝がんの手術や放射線治療を連携して提供する体制を整備することが適当と考えられます。

高 知 県

# 高知県 2次医療圏の概要

平成29年9月1日現在

2次医療圏名	面積 (km <sup>2</sup> )	人口	人口 割合 (%)	人口密度	病院数	がん診療連携拠点病院				特定領域 がん診療連携拠点病院			地域がん診療病院		
						現況報告 病院数	今回更新 病院数	新規申請 病院数	計	現況報告 病院数	今回更新 病院数	新規申請 病院数	現況報告 病院数	今回更新 病院数	新規申請 病院数
安芸	1128.92	46,413	6.5	41.1	7				0						1
中央	3008.75	528,584	74.1	175.7	96	2			2						
高幡	1405.44	54,330	7.6	38.7	8				0						
幡多	1561.9	84,138	11.8	53.9	18	1			1						
計	7105.01	713,465	100	309.4	129	3	0	0	3	0	0	0	0	0	1

## 高知県 平成29年9月1日現在の指定状況と患者受療動向





# がん診療連携拠点病院及び特定領域がん診療連携拠点病院

- ・ ( ) 内は平成28年10月末日提出の数値、下段は平成29年11月末日提出の数値
- ・ 申請区分は資料4の作成要領を参照のこと
- ・ 1枚につき11病院を超える場合には、複数枚にわたって表を作成してください。
- ・ ※1については、ESD+EMRの合計数を記載すること。

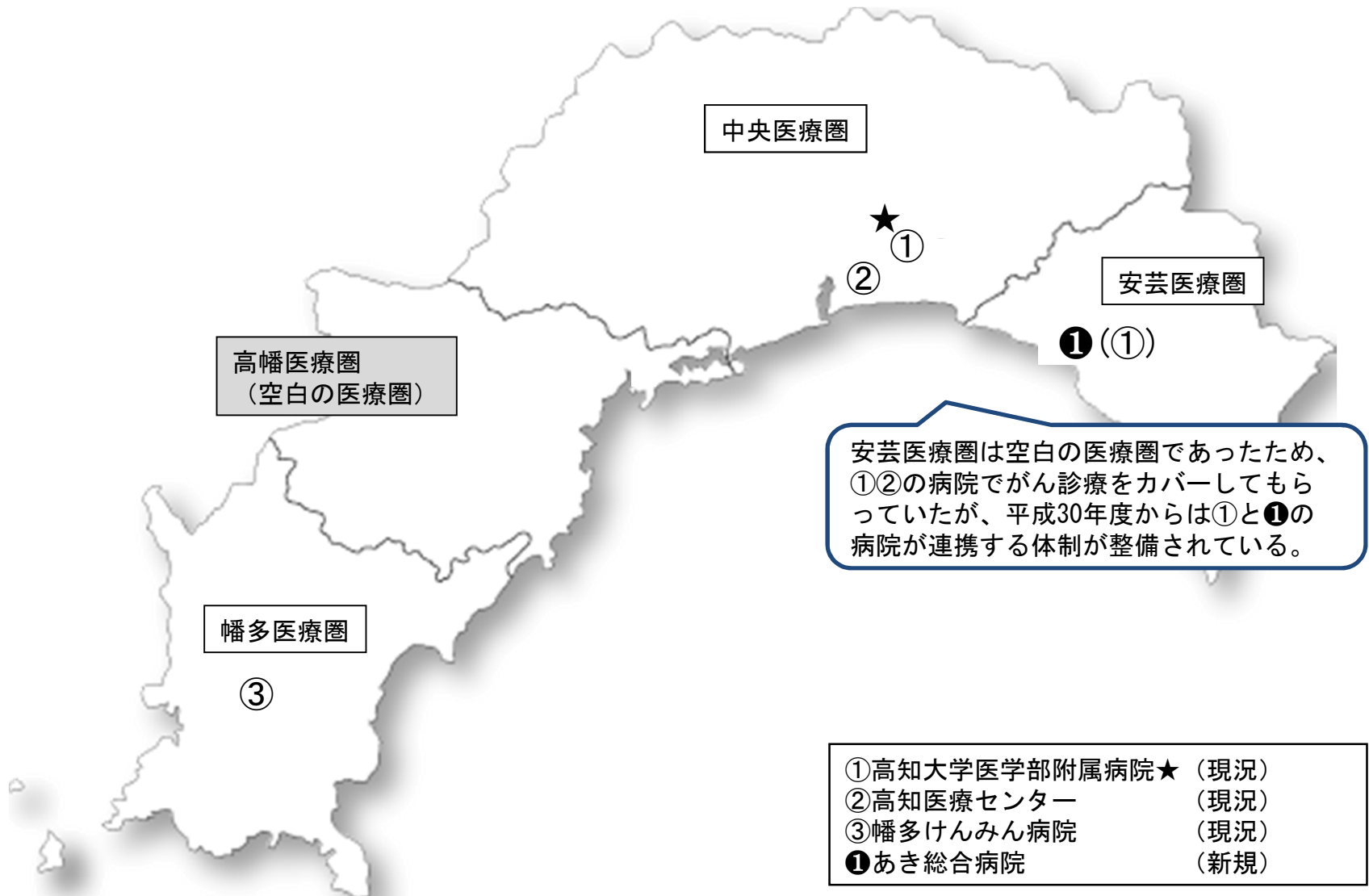
都道府県 or 地域 or 特定	申請 区分	病院 名	年間入院患者数の状況		院内 がん 登録	手術件数（臓器別手術件数は4ヶ月分）													がん に係る 化学療法	放射線 治療	診療の 割合	緩和 ケア	がん相談 支援 センター	
			年間 新入院 がん患者 数	年間 新入院 患者数に 占める がん患者 の割合 (%)		院内 がん 登録 数 (年間) <b>500件 以上</b>	悪性 腫瘍の 手術件 数(年間) <b>400 件以上</b>	肺がん		胃がん手術			大腸がん手術			肝臓がん		乳がん						
					開胸 手術			胸腔 鏡下 手術	開腹 手術	腹腔 鏡下 手術	ESD ± EMR ※1	開腹 手術	腹腔 鏡下 手術	内視 鏡手 術	開腹 手術	腹腔 鏡下 手術	ラジ オ波 焼灼 療法	乳癌 手術	のべ 患者数 (年間) <b>1000人 以上</b>	のべ 患者数 (年間) <b>200人以 上</b>	当該2 次医療 圏に居 住する がん患 者の診 療の割 合 <b>2割程 度</b>	緩和 ケア チーム に対し する新 規診療 依頼数 (1ヶ月 分)	がん相談 支援セン ター相談 件数 (2ヶ月分)	
1	★	現況	高知 大学 医学 部附 属病 院	(3660) 3563	(33.6) 33.0	(1377) 1300	(1112) 1075	(13) 9	(9) 18	(8) 13	(9) 9	(18) 21	(3) 2	(12) 15	(8) 10	(10) 12	(3) 0	(35) 36	(36) 35	(1820) 1570	(403) 474	(24) 23	(5) 9	(224) 171
2		現況	高知 医療 セン ター	(4533) 4688	(34.1) 34.0	(1605) 1875	(910) 1082	(3) 1	(29) 25	(32) 30	(18) 9	(34) 22	(44) 41	(42) 30	(2) 18	(24) 12	(0) 0	(3) 4	(22) 19	(1479) 1874	(281) 296	(27) 33	(22) 30	(244) 183
3		現況	県立 幡多 けん みん 病院	(977) 921	(15.9) 16.1	(460) 502	(290) 237	(0) 0	(0) 0	(7) 13	(5) 3	(0) 1	(9) 6	(7) 7	(0) 0	(1) 3	(0) 0	(1) 2	(7) 8	(345) 458	(103) 96	(39) 37	(9) 7	(73) 112

# 地域がん診療病院

- ・ 上段は平成28年10月末日提出の数値、下段は平成29年11月末日提出の数値
- ・ 申請区分は資料4の作成要領を参照のこと

	申請区分	病院名	年間入院患者数の状況		院内がん登録	手術件数	がんに係る化学療法	放射線治療 (実施していれば)	診療の割合	緩和ケア	がん相談支援センター
			年間新入院がん患者数	年間新入院患者数に占めるがん患者の割合(%)	院内がん登録数(年間)	悪性腫瘍手術総数(年間)	のべ患者実数(年間)	のべ患者数(年間)	当該2次医療圏に居住するがん患者の診療の割合(%)	緩和ケアチームに対する新規診療依頼数(1ヶ月分)	がん相談支援センター相談件数(2ヶ月分)
①	新規	県立あき総合病院	269	8.4	0	53	703	—	22	5	0

## 高知県 平成29年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向



## 指定推薦に係る高知県の考え方（1）

### （1）拠点病院の位置づけ

本県では、保健医療計画において4つの二次医療圏（安芸・中央・高幡・幡多）を設定しているが、がん医療提供体制については、次のような医療機能の集積状況やがん患者の医療圏間移動、地理的条件等を踏まえ、県全体として高度医療の確保と患者の利便性の双方を確保できるよう、中央医療圏の拠点病院が中央医療圏に加え安芸・高幡医療圏の患者支援を、幡多医療圏の拠点病院が幡多医療圏の患者支援の患者支援を主に行っている。

①本県では、安芸及び高幡医療圏では、単独で集学的治療を実施できる医療機関がないことから、その役割を中央医療圏の医療機関が担っている。また、幡多医療圏内で集学的治療ができる医療機関は1か所のみとなっている。

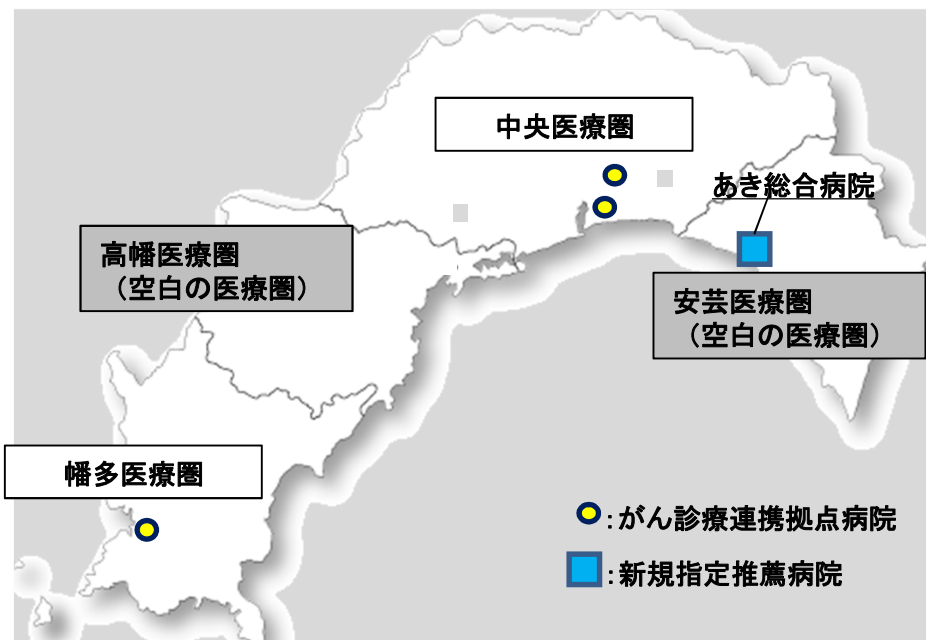
②がんの入院患者についても、中央医療圏への流出が多い。

2次医療圏名	入院	
	自圏内	中央医療圏への流出
安芸医療圏	50.8% (21.2%)	49.2% (76.5%)
中央医療圏	99.5% (99.8%)	—
高幡医療圏	36.8% (41.7%)	63.2% (57.5%)
幡多医療圏	71.0% (70.5%)	28.2% (26.5%)

※平成28年度高知県患者動態調査結果による  
( )内は平成23年度調査結果

③本県は、東西に長い地形に加えて、中山間部では過疎化が進行するなど地理的条件が厳しい。

④幡多医療圏については、中央圏域から地理的に離れた圏域であり、一部患者が中央医療圏や県外に流出しているものの、概ね自圏域内で医療が完結している。



高知県の空白医療圏のひとつである安芸医療圏の患者が、自圏内で一定の診療が完結できる体制を構築する必要がある。

高知大学医学部附属病院とのグループ指定により基本的がん診療の体制を確保した  
あき総合病院を「地域がん診療病院」として新規指定推薦

## 指定推薦に係る高知県の考え方（2）

### （2）がん診療連携拠点病院等の整備方針及び地域連携体制

#### ○がん診療連携拠点病院等の整備方針について

- 都道府県がん診療連携拠点病院として、高知大学医学部附属病院を整備している。

地域がん診療連携拠点病院としては、高知医療センターが高知大学医学部附属病院と安芸・中央・高幡医療圏をカバーし、幡多けんみん病院が幡多医療圏をカバーするよう整備している。

- 現在、空白医療圏となっている安芸・高幡医療圏のうち、安芸医療圏については、高知大学医学部附属病院とのグループ指定により集学的治療及び緩和ケア、相談支援、地域連携等の体制を確保したあき総合病院を、新たに地域がん診療病院として整備する。

圏域	医療機関名	各医療機関の機能等
全域	高知大学医学部附属病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆平成18年度に都道府県拠点病院として指定を受けた国立大学法人の附属病院。</li> <li>◆特定機能病院及び大学病院として、県内全域を対象に、高度ながん診療のみならず、次の機能も発揮する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・症例の少ないがんの診療。</li> <li>・県内医師に対し、大学の教育機能を活かした研修。</li> <li>・県内医療機関への医師派遣。</li> </ul> </li> <li>◆県内医療機関の拠点として、遠隔画像システム等を通じて、診療支援を行う。</li> </ul>
安芸	あき総合病院	◆都道府県拠点病院である高知大学医学部附属病院とのグループ指定により、集学的治療等を提供する。
安芸中央高幡	高知医療センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆高知大学とともに、安芸・中央・高幡医療圏の患者の診療と、これら医療圏の医療機関の診療支援を行う。</li> <li>◆救命救急センター・総合周産期母子医療センター・がんセンター・循環器病センター・地域医療センターといった高度医療機能を備え、県全体の基幹病院と位置付けられている。</li> </ul>
幡多	幡多けんみん病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆幡多医療圏に平成24年度に地域拠点病院として整備。</li> <li>◆幡多圏域の基幹病院として、高度ながん診療を行うとともに、地域の関係機関との連携のもとに、地域でほぼ完結できる医療の提供を行っている。</li> </ul>

#### 【あき総合病院の概要】

- あき総合病院は、精神科専門病院であった旧県立芸陽病院と、一般診療科病院の旧県立安芸病院の2つの県立病院が平成24年に合併し、「県立あき総合病院」として誕生した病院である。平成26年4月には新病院建物も開院し、安芸医療圏のための総合病院として、ハード面においても充実した体制となっている。

- 既に超高齢化を迎えている高知県東部地域では、地域の医療・介護・福祉すべての下支えとなる中核となる医療体制が不可欠であり、また、ひとつの医療圏域内で医療を完結させ、住民が安心して暮らせるよう「地域の総合病院」を目指している。

- 都道府県がん診療連携拠点病院である高知大学医学部附属病院とあき総合病院が連携することにより、集学的治療及び緩和ケア、相談支援、地域連携等基本的がん診療の提供体制を確保し、がん診療連携拠点病院が整備されていない安芸医療圏において、がん医療提供体制の強化を図っていく。

#### 【指定されることによる効果】

空白の医療圏である安芸医療圏に、あき総合病院を地域がん診療病院として指定することにより、

- 中央医療圏に治療に行っていたがん患者に対して、安芸医療圏で一定の診療が完結できる体制の構築ができる。
- 地域の医療従事者を対象とする緩和ケアをはじめとした研修会の開催により、安芸医療圏における人材育成と、地域医療の質の向上を図ることができる。
- がん患者相談支援窓口などを新たに設置することにより、がん患者やその家族への支援体制の強化を図ることができる。

# 地域がん診療病院 推薦意見書

高 知 県

## 1 推薦病院

本県から、1病院の新規指定を推薦する。

区分	二次医療圏	病院名	推薦種別
地域がん診療病院	安芸	高知県立あき総合病院	新規申請

## 2 がん医療提供体制における拠点病院の位置づけ

本県では、保健医療計画において4つの二次医療圏（安芸・中央・高幡・幡多）を設定しているが、がん医療提供体制については、次のような医療機能の集積状況やがん患者の医療圏間移動、地理的条件等を踏まえ、県全体として高度医療の確保と患者の利便性の双方を確保できるよう、中央医療圏の拠点病院が中央医療圏に加え安芸・高幡医療圏の患者支援を、幡多医療圏の拠点病院が幡多医療圏の患者支援を主に行っている。

- (1) 本県では、安芸及び高幡医療圏では、単独で集学的治療を実施できる医療機関がないことから、その役割を中央医療圏の医療機関が担っている。  
また、幡多医療圏内で集学的治療ができる医療機関は1か所のみとなっている。
- (2) がんの入院患者についても、中央医療圏への流出が多い。
- (3) 本県は、東西に長い地形に加え、中山間部では過疎化が進行するなど地理的条件が厳しいが、近年の道路網や鉄道網の整備により、安芸及び高幡医療圏から中央医療圏への時間距離は大幅に短縮している。
- (4) 幡多医療圏は中央圏域から地理的に離れた圏域であり、一部患者が中央医療圏や県外に流出しているものの、概ね自圏内で医療が完結している。

### 二次医療圏

二次医療圏	面積 (km <sup>2</sup> )	人口 (人)	人口割 (%)	病院数	入院患者の受療完了率	中央医療圏への流出	地域の特徴
安芸医療圏	1,128.92	46,413	6.5	7	21.2%	76.5%	要件を満たす医療機関がなく、半数程度の患者が中央圏域に流出している。
中央医療圏	3,008.75	528,584	74.1	96	99.8%	0.2% (他の圏域への流出)	医療機関が集中しており、ほぼ完全に自圏内で医療が完結している。また、他圏域からの患者が多く流入している。
高幡医療圏	1,405.44	54,330	7.6	8	41.7%	57.5%	要件を満たす医療機関がなく、半数程度の患者が中央圏域に流出している。
幡多医療圏	1,561.90	84,138	11.8	18	70.5%	26.5%	中央圏域から離れた圏域で、一部患者が中央圏域に流出しているものの、概ね自圏内で医療が完結している。
合計	7,105.01	713,465	100.0	129			

(面積,人口,人口割,病院数 : H29.9.1 現在)(受療完了率・中央医療圏への流出 : H23 高知県患者動態調査)

### 3 がん診療連携拠点病院等の整備方針

都道府県がん診療連携拠点病院として、高知大学医学部附属病院を整備している。

地域がん診療連携拠点病院としては、高知医療センターが高知大学医学部附属病院とともに、安芸・中央・高幡医療圏をカバーし、幡多けんみん病院が幡多医療圏をカバーするよう整備している。

現在、空白医療圏となっている安芸・高幡医療圏のうち、安芸医療圏については、高知大学医学部附属病院とのグループ指定により集学的治療及び緩和ケア、相談支援、地域連携等基本的がん診療の体制を確保したあき総合病院を、新たに地域がん診療病院として整備する。

圏域	医療機関名	各医療機関の機能及び推薦理由等
全域	高知大学医学部附属病院 (都道府県拠点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆平成18年度に都道府県拠点病院として指定を受けた国立大学法人の附属病院。</li> <li>◆特定機能病院及び大学病院として、県内全域を対象に、高度ながん診療のみならず、次の機能も発揮する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・症例の少ないがんの診療。</li> <li>・県内医師に対し、大学の教育機能を活かした研修。</li> <li>・県内医療機関への医師派遣。</li> </ul> </li> <li>◆県内医療機関の拠点として、遠隔画像システム等を通じて、診療支援を行う。</li> </ul>
安芸	あき総合病院 (地域診療・新規指定)	◆都道府県拠点病院である高知大学医学部附属病院とのグループ指定により、集学的治療等を提供する。
安芸 中央 高幡	高知医療センター (地域拠点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆高知大学とともに、安芸・中央・高幡医療圏の患者の診療と、これら医療圏の医療機関の診療支援を行う。</li> <li>◆救命救急センター・総合周産期母子医療センター・がんセンター・循環器病センター・地域医療センターといった高度医療機能を備え、県全体の基幹病院と位置付けられている。</li> </ul>
幡多	幡多けんみん病院 (地域拠点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆幡多医療圏に平成24年度に地域拠点病院として整備される。</li> <li>◆幡多圏域の基幹病院として、高度ながん診療を行うとともに、地域の関係機関との連携のもとに、地域ではほぼ完結できる医療の提供を行っている。</li> </ul>

### 4 推薦する医療機関(高知県立あき総合病院)について

#### (1) 高知県立あき総合病院(新規指定)の概要

あき総合病院は、精神科専門病院であった旧県立芸陽病院と、一般診療科病院の旧県立安芸病院の2つの県立病院が平成24年に合併し、新たに心も身体も診療できる「県立あき総合病院」として誕生した病院である。

平成26年4月には新病院建物も開院し、安芸医療圏のための総合病院として、ハード面においても充実した体制となっている。

既に超高齢化を迎えている高知県東部地域では、地域の医療・介護・福祉すべての下支えとなる中核となる医療体制が不可欠であり、また、ひとつの医療圏域内で医療を完結させ、住民の方々が安心して暮らせるよう「地域の総合病院」を目指している。

都道府県がん診療連携拠点病院である高知大学医学部附属病院とあき総合病院が連携することにより、集学的治療及び緩和ケア、相談支援、地域連携等基本的がん診療の提供体

制を確保し、がん診療連携拠点病院が整備されていない安芸医療圏において、がん医療提供体制の強化を図っていく。

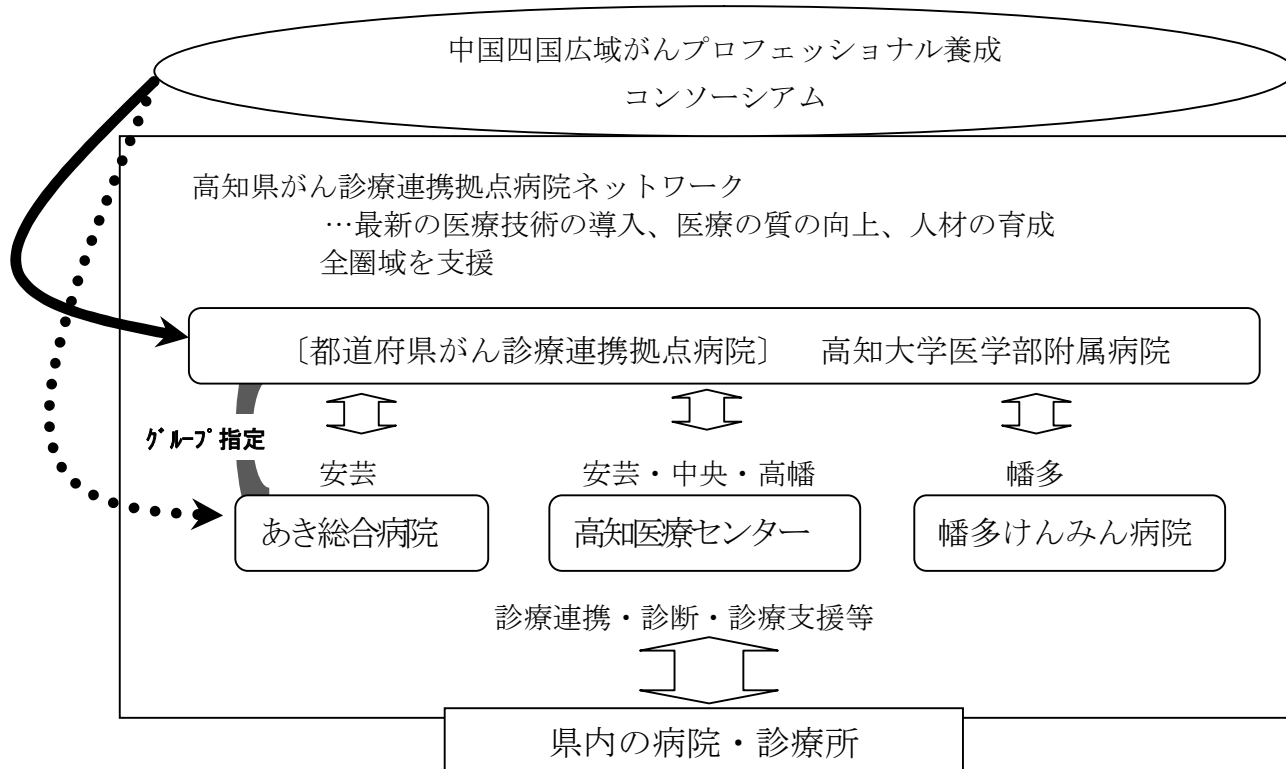
(2) 本県のがん診療体制を整備するうえでの必要性

がん診療については、最新の医療を本県でも提供しうる体制づくりを目標とし、医療従事者の育成、診療の相互支援、がんに係る情報の収集・提供等を行うこととしている。その推進体制としては、特定機能病院及び大学病院である高知大学医学部附属病院が、都道府県がん診療連携拠点病院として県全体のがん治療水準の向上と人材の育成、治療連携体制を構築している。

また、安芸・高幡医療圏にがん診療連携拠点病院としての要件を満たす病院が無いことから、高知医療センターと高知大学医学部附属病院が安芸医療圏・中央医療圏・高幡医療圏を、幡多けんみん病院が幡多圏域の基幹病院として幡多医療圏をカバーしている。

さらに、あき総合病院が安芸圏域の基幹病院として高知大学医学部附属病院とのグループ指定により安芸医療圏をカバーすることで、中央医療圏まで診療・治療に行っていた患者を安芸医療圏で一定の診療が完結できる体制を構築する方針である。

がん診療連携拠点病院を核としたがん診療連携体制の構築





長 崎 県

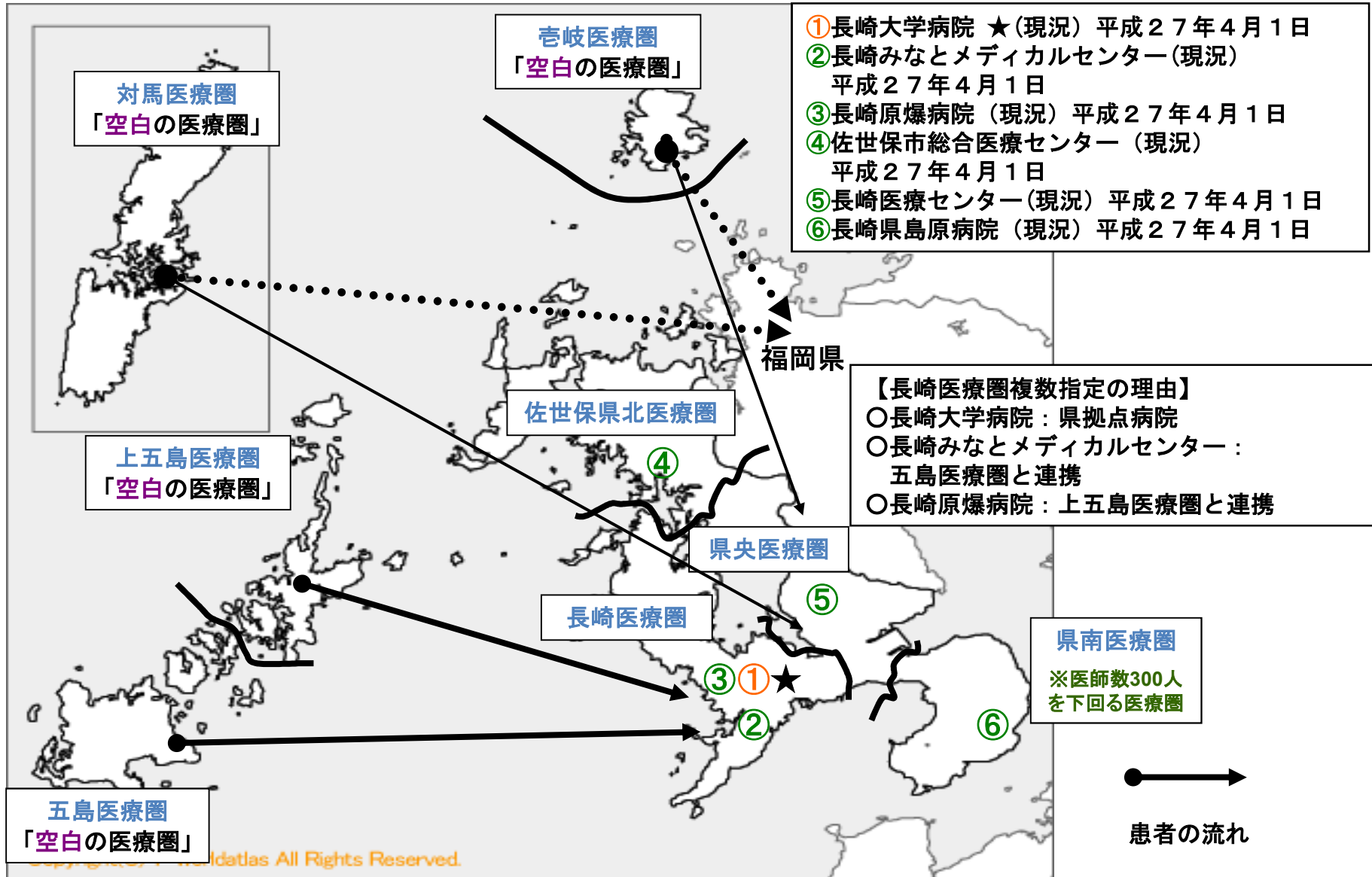
# 長崎県 2 次医療圏の概要

平成 2 9 年 9 月 1 日現在

2次医療圏名	面積 (km <sup>2</sup> )	人口	人口 割合(%)	人口密度	病院数	がん診療連携拠点病院				特定領域 がん診療連携拠点病院			地域がん診療病院		
						現況報告 病院数	今回更新 病院数	新規申請 病院数	計	現況報告 病院数	今回更新 病院数	新規申請 病院数	現況報告 病院数	今回更新 病院数	新規申請 病院数
長崎	697.12	522,049	38.6	748.9	54	3			3						
佐世保県北	823.96	321,247	23.7	389.9	37	1			1						
県央	636.05	266,745	19.7	419.4	31	1		1	2						
県南	467.39	132,484	9.8	283.5	17	1			1						
五島	420.05	36,055	2.7	85.8	4				0						
上五島	239.47	18,913	1.4	79.0	1				0						
壱岐	139.42	26,310	1.9	188.7	5				0						
対馬	708.63	30,369	2.2	42.9	2				0						
計	4,132.09	1,354,172	99.99	327.7	151	6	0	1	7	0	0	0	0	0	0

# 長崎県 平成29年9月1日現在の指定状況と患者受療動向

資料2



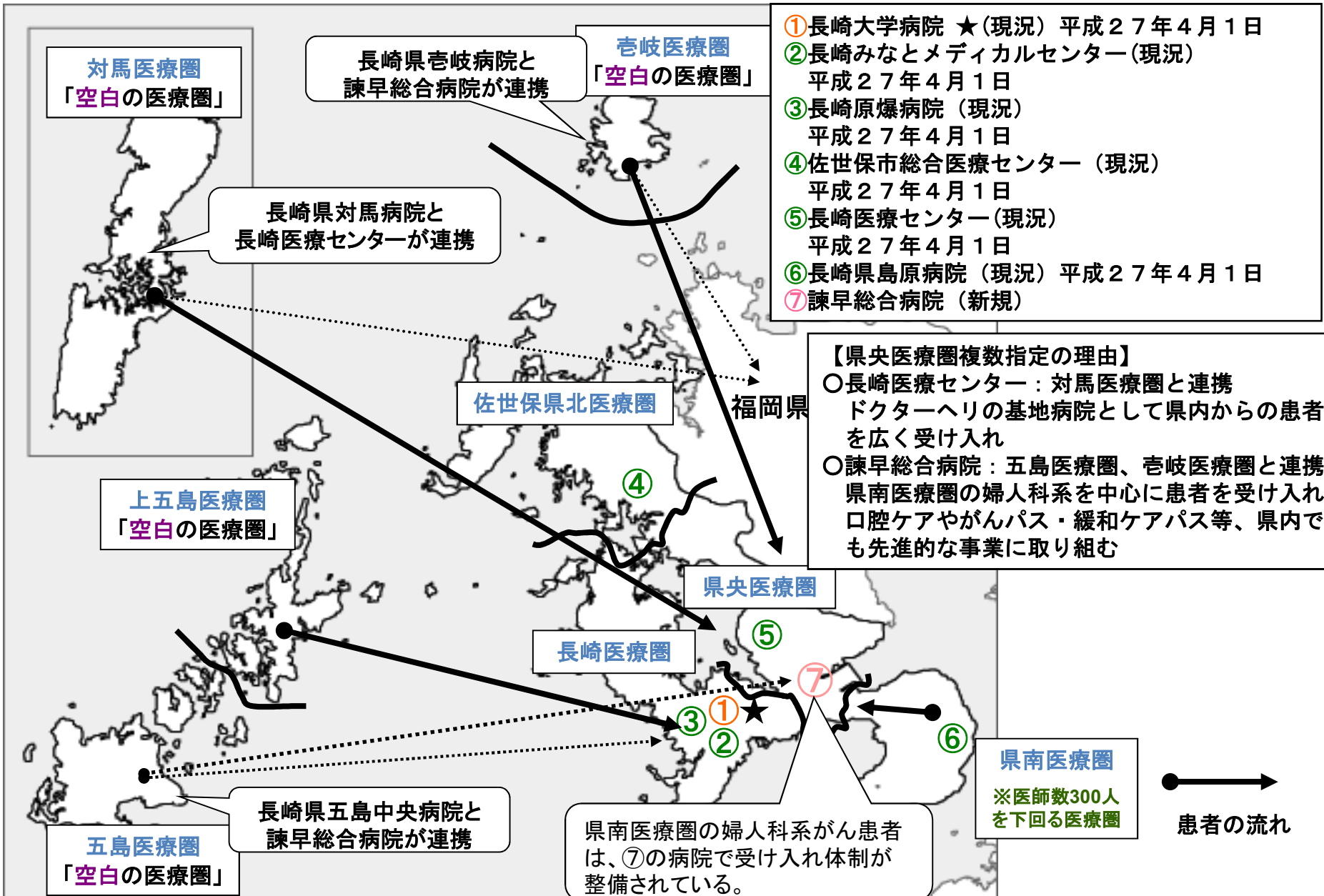
# がん診療連携拠点病院及び特定領域がん診療連携拠点病院

- ・ ( ) 内は平成28年10月末日提出の数値、下段は平成29年10月末日提出の数値
- ・ 申請区分は資料4の作成要領を参照のこと
- ・ 1枚につき11病院を超える場合には、複数枚にわたって表を作成してください。
- ・ ※1については、ESD+EMRの合計数を記載すること。

県 or 地域 or 特定	申 請 区 分	病 院 名	年間入院患者数の状況		院内がん登録 登録数 (年間) <b>500件以上</b>	手術件数 (臓器別手術件数は4ヶ月分)												がんに係る化学療法 のべ患者数 (年間) <b>1000人以上</b>	放射線治療 のべ患者数 (年間) <b>200人以上</b>	診療の割合 当該2次医療圏に居住するがん患者の診療の割合 <b>2割程度</b>	緩和ケア 診療に対する新規数 (1ヶ月分)	がん相談支援センター 相談件数 (2ヶ月分)		
			年間 新入院がん患者数	年間 新入院患者数に占めるがん患者の割合 (%)		悪性腫瘍の手術件数 (年間) <b>400件以上</b>	肺がん		胃がん手術			大腸がん手術			肝臓がん								乳がん 乳癌手術	
							開胸手術	胸腔鏡下手術	開腹手術	腹腔鏡下手術	ESD 土 EMR ※1	開腹手術	腹腔鏡下手術	内視鏡手術	開腹手術	腹腔鏡下手術	ラジオ波焼灼療法							
1	★	現況	長崎大学病院	(5,735)	(32)	(2,449)	(1,675)	(14)	(28)	(5)	(29)	(49)	(2)	(56)	(31)	(12)	(7)	(15)	(32)	(1,045)	(639)	(53)	(35)	(514)
				5,730	31	2,165	1,778	8	41	8	24	33	8	68	26	16	10	15	43	1,375	618	55	28	110
2		現況	長崎みなとメテoricセンター	(1,958)	(19)	(1,078)	(736)	0	(31)	(3)	(12)	(27)	(1)	(28)	(152)	0	0	(16)	(28)	(699)	(334)	(15)	(21)	(381)
				2,235	21	1,054	799	1	21	1	13	19	10	38	37	0	0	13	34	774	539	17	7	368
3		現況	長崎原爆病院	(2,750)	(36)	(1,022)	(536)	(2)	(33)	(10)	(11)	(26)	(6)	(24)	(57)	(4)	(3)	(2)	(37)	(1,111)	(303)	(22)	(11)	(146)
				2,767	35	1,094	867	1	26	4	6	24	6	21	43	3	0	1	27	972	337	21	6	200
4		現況	佐世保市総合医療センター	(4,366)	(34)	(1,898)	(968)	0	(25)	(19)	(17)	(33)	(11)	(41)	(54)	(2)	(3)	(9)	(18)	(1,839)	(503)	(45)	(11)	(291)
				4,250	33	1,605	995	0	29	5	9	35	17	46	52	4	3	17	25	1,830	506	44	28	243
5		現況	長崎医療センター	(3,949)	(27)	(1,586)	(847)	(8)	(27)	(10)	(10)	(20)	(7)	(40)	(30)	(2)	(1)	(33)	(36)	(1,102)	(437)	(45)	(46)	(490)
				3,888	26	1,614	919	2	33	8	17	28	3	42	103	11	8	7	40	1,333	410	38	11	172
6		現況	長崎県島原病院	(1,300)	(30)	(583)	(234)	0	(1)	(3)	(2)	(2)	(8)	(6)	(12)	(5)	0	0	(6)	(1,269)	(207)	(54)	(29)	(219)
				1,293	29	380	146	0	0	7	3	1	18	2	45	1	0	0	17	1,092	109	53	32	227
7		新規	諫早総合病院	(2,018)	(23)	(821)	(653)	0	(4)	(15)	(2)	(15)	(14)	(10)	(15)	(3)	0	(2)	(27)	(1,100)	(213)	(23)	(7)	(288)
				1,987	22	902	465	1	11	12	2	17	7	19	21	2	0	3	16	1,040	177	23	2	97

# 長崎県 平成29年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向

資料4



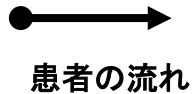
- ①長崎大学病院 ★(現況) 平成27年4月1日
- ②長崎みなとメディカルセンター(現況) 平成27年4月1日
- ③長崎原爆病院(現況) 平成27年4月1日
- ④佐世保市総合医療センター(現況) 平成27年4月1日
- ⑤長崎医療センター(現況) 平成27年4月1日
- ⑥長崎県島原病院(現況) 平成27年4月1日
- ⑦諫早総合病院(新規)

**【県央医療圏複数指定の理由】**

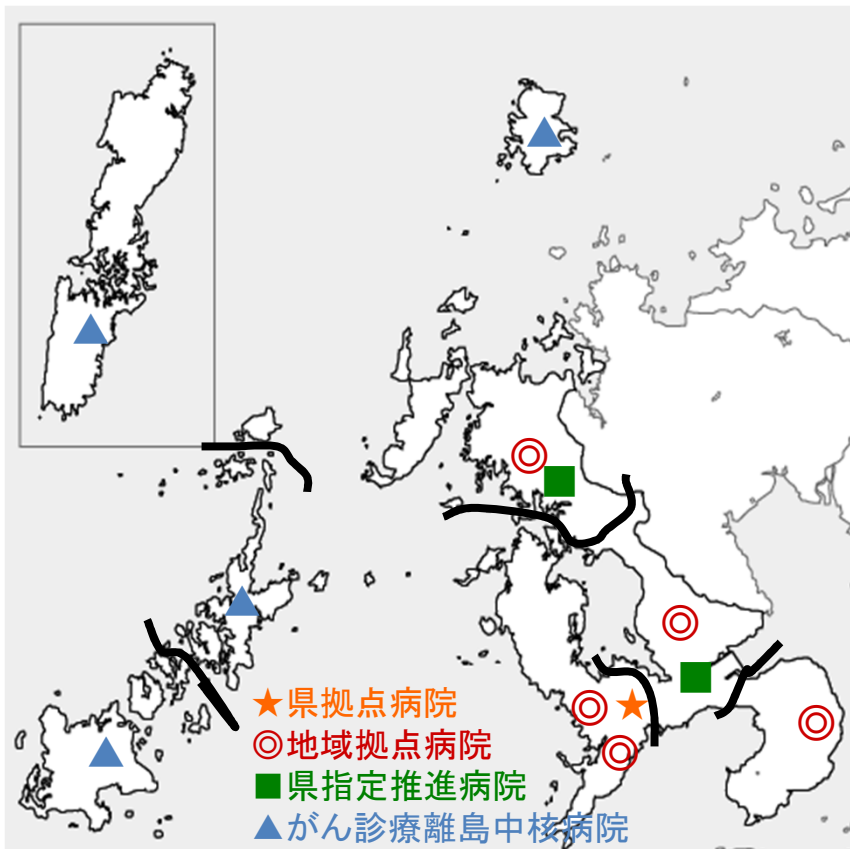
- 長崎医療センター：対馬医療圏と連携  
ドクターヘリの基地病院として県内からの患者を広く受け入れ
- 諫早総合病院：五島医療圏、杵岐医療圏と連携  
県南医療圏の婦人科系を中心に患者を受け入れ  
口腔ケアやがんパス・緩和ケアパス等、県内でも先進的な事業に取り組む

県南医療圏の婦人科系がん患者は、⑦の病院で受け入れ体制が整備されている。

**県南医療圏**  
※医師数300人を下回る医療圏



## 今回の指定推薦に係る長崎県の考え方



### 「空白の医療圏」への対策

- がん診療の均てん化を図るため、離島地域の医療圏には、第一期「長崎県がん対策推進計画」策定時に地域の中核病院を“がん診療離島中核病院”と位置づけた。
- 「県医療計画」及び「県がん対策推進計画」において、地域拠点病院を中心する「地域がん診療連携協議会」を設置し、がん診療に関する研修会等の企画・運営を行うこととした。  
併せて地域の医療機関や介護施設等との連携等により、地域全体のがん医療水準の向上を図ることとしている。

### 「諫早総合病院の概要」

- 323床・28診療科目を持ち、諫早市の中核病院として住民や患者のニーズに沿った医療を提供してきている。平成24年に放射線治療装置の整備や病理専門医の配置緩和医療チームの立ち上げや院内がん登録の推進、がん地域連携パスの運用に積極的に取り組む等、県指定推進病院としてがん診療連携拠点病院と同等の体制整備に努め、県のがん医療の推進に貢献している。

### 「県央医療圏の患者動向」

- 大村市の長崎医療センターは大村市、東彼杵郡、県南地区の一部を、島原病院は島原市及び雲仙市・南島原市の一部を、諫早総合病院は諫早市及び雲仙市・南島原市の一部を背景医療地域としている。  
この3つの医療機関は手術、化学療法、放射線治療、緩和ケア、終末期ケア等を患者毎の利便性を尊重しながら連携して医療を提供している。

- 県南医療圏は医療資源に限りがあるため、患者は隣接する諫早市に向かう傾向にある。地理的特性や公共交通基盤が脆弱な地域であることを鑑み、限られた医療資源で質の高いがん診療の均てん化を図るためには、患者の流れに即した医療機関の連携が求められている。

## 「がん医療提供での役割」

○諫早総合病院はがん診療連携パスの運用に積極的に取り組んできた経緯があり、県下では最も多い運用実績を挙げている。このパスの運用で築いた地域医療機関との関係を発展させ、「緩和ケアパス」を作成し、運用を開始するとともに、緩和ケア専用病床を設け、在宅患者が急変した際にも受入が可能な体制の整備を行っている。在宅患者にも緩和ケアを普及させ、がん患者の在宅診療体制を整備するうえで、県のモデルケースとなり得る実績を有しており、がん診療の空白の医療圏である離島地域での普及に際し大いに役立てられる事例である。

## 「医療連携について」

○離島地域の医療機関に消化器内科専門医を定期的に派遣し、消化器がんの高度内視鏡治療の診療支援を実施するとともに、合同カンファランスにも参加し、地域のがん診療に関する協議を行っており、離島地域におけるがん診療の資質の向上に寄与するものである。

県としても内視鏡システム設置への助成や遠隔での画像診断や検査結果等が掲載されている電子カルテを医療機関相互で閲覧が可能となる体制の整備を進めており、諫早総合病院の取組の支援に繋がり、離島地域の拠点となる医療機関での対応が可能となれば、本県のがん対策の推進に大きく寄与するものと考えている。

また、県央医療圏は圏内に長崎空港があり、離島地域からの患者を受け入れるための体制が整えられている。

## 「拠点病院となることによる、県内のがん診療推進への効果」

○県央医療圏は県内人口の2割、諫早市は人口の1割を占める地域であり、諫早総合病院は入院患者に占める圏内患者割合が7割、残りを県南医療圏等の患者が占めている。

県内の新規がん患者数、手術件数等においても、約1割を占める医療機関である。

○長崎県民のがん罹患患者数及び死亡者数は全国より高齢化が進んでいることもあり、がん予防の啓発やがん検診による早期発見・早期治療に努めても、その罹患患者数を減少させることは非常に困難な状況にあり、既存のがん診療連携拠点病院での受入態勢も飽和状態にあるため、がん患者が手術等の処置を終えた後も安心して通院が可能ながん診療の拠点となる施設は在宅医療との連携を構築するうえで不可避である。

○同じ医療圏内の長崎医療センターや県南医療圏の医療機関と連携し、限られた医療資源を有効に活用するため、各医療機関の得意とする分野毎に役割分担を行うなど診療の集約化を図り、患者に対しより充実したがん診療が提供され、長崎県内のがん診療がより一層、質が高く均てん化が図られたものになる。

# 長崎県 がん診療連携拠点病院等に関する概要

## 〔概要〕

位置：九州の西北部に位置し、

離島、半島が多い

人口：約136万人

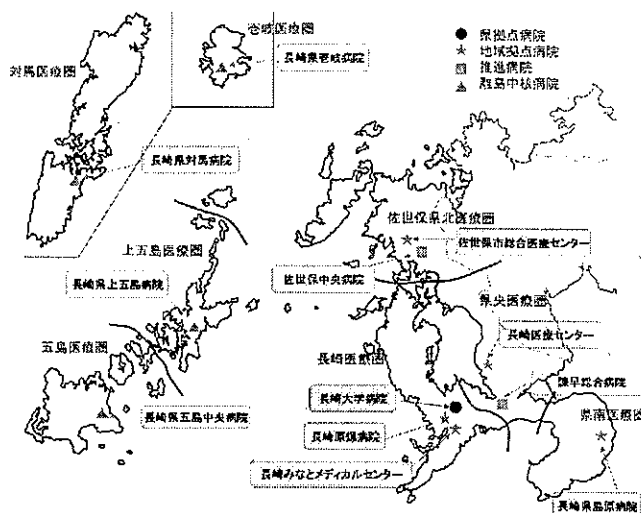
本土地域 約125万人

離島地域 約11万人

医療施設：長崎市、佐世保市に大規模病院が集中し、離島地域は、県と市町で構成する長崎県病院企業団の病院が主にカバーしている。

(様式2参照)

## ＜長崎県の医療圏域とがん診療連携拠点病院＞



本県は、本土地域に4か所、離島地域に4か所計8か所の二次医療圏を設定しています。がん診療連携拠点病院(以下、「拠点病院」という。)は、本土4か所の二次医療圏に、1県拠点病院、5地域拠点病院の6病院が指定を受けています(上図及び別添様式2参照)。

## ○拠点病院の整備状況

〔県拠点病院〕(長崎医療圏)長崎大学病院

〔地域拠点病院〕(長崎医療圏)長崎みなとメディカルセンター、  
長崎原爆病院

(佐世保県北医療圏)佐世保市総合医療センター

(県央医療圏)長崎医療センター

(県南医療圏)長崎県島原病院

また、本土2か所に、拠点病院の指定は受けていないものの、「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」(以下、「整備指針」という。)の要件をほぼ満たす2病院を長崎県指定がん診療連携推進病院(以下、「推進病院」という。)として指定しています。

## ○推進病院の整備状況

(佐世保県北医療圏)佐世保中央病院

(県央医療圏)諫早総合病院



4つの離島地域の医療圏には、現時点で整備指針の要件を満たす病院がありません。(空白の医療圏)

空白の医療圏対策として、県がん対策推進計画において、4つの病院を「がん診療離島中核病院」(以下、「離島中核病院」という。)と位置づけ、本土地区の拠点病院、推進病院と連携し、離島地域のがん診療の質の向上に努めています。

○離島中核病院の整備状況

(五島医療圏)長崎県五島中央病院

(上五島医療圏)長崎県上五島病院

(壱岐医療圏)長崎県壱岐病院

(対馬医療圏)長崎県対馬病院

また、長崎県がん診療連携協議会を設置し、県レベルの研修会の計画や拠点病院、推進病院間の調整・連携強化を図っています。地域拠点病院と推進病院は、地域におけるがん医療の連携の拠点となり、自ら専門的な医療を提供するとともに、地域連携体制の構築や人材育成に努めています。

さらに拠点病院や推進病院が中心となり、空白の医療圏域を含めた「地域がん診療連携協議会」を設置し、その地域におけるがん診療に関する研修会の計画・実施、地域の医療機関や介護施設等との連携等により、地域全体のがん医療水準の向上を図ることとしています。

○地域がん診療連携協議会

長崎地域……………長崎みなとメディカルセンター、長崎原爆病院

佐世保県北地域……佐世保市総合医療センター、佐世保中央病院

県央地域……………長崎医療センター、諫早総合病院

県南地域……………長崎県島原病院

## 長崎県 がん診療連携拠点病院への新規指定推薦書

今回、現況報告を行う長崎医療圏の長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター及び長崎原爆病院、佐世保県北医療圏の佐世保市総合医療センター、県央医療圏の長崎医療センター、県南医療圏の長崎県島原病院の6か所のがん診療連携拠点病院は、整備指針の要件を充足しているとともに、それぞれの地域において、がん診療における地域連携及び、医師、看護師等への研修会の開催など、拠点病院としての役割を十分果たしております。

この度、県央医療圏のがん診療連携準拠点病院(県指定がん診療連携推進病院)であります諫早総合病院を「地域がん診療連携拠点病院」に推薦させていただきます。諫早総合病院は 背景医療地域として諫早市、雲仙市の一部、南島原市の一部までを含んでおります。大村市に位置する長崎医療センターは大村市や東彼杵郡を背景医療地域としております。島原市に位置する長崎県島原病院は島原市、雲仙市の一部、南島原市の一部を背景医療地域としております。これら3医療機関は手術治療・薬物療法・放射線治療・緩和ケア等、患者毎の利便性を尊重し、連携を図りながら医療の提供を行っておりますが、島原半島地域では医療資源に限りがあることや、地理的特性・公共交通事情等により患者が県央医療圏へと向かうため、諫早総合病院にて受け入れを行っている状況であります。

また、県内では数少ない歯科口腔外科を標榜しており、薬物療法が予定されているがん罹患患者の治療計画が円滑に進捗するよう、入院・外来にて対応していただいております。県内では口腔ケアの普及が遅れていることから、諫早総合病院が県央・県南医療圏において連携を図りながら、がん患者の口腔ケアの推進に努めていただいております。

さらに、がんの地域連携クリティカルパスの運用に積極的に取り組まれており、県下最多の運用実績があります。このパスの運用で構築された地域医療機関との連携関係を活用し、九州でも顕著な取組として緩和ケアパスの運用も実施されております。地域でのがん診療の連携を広げ、緩和ケアを充実させ、がん患者の在宅診療体制の整備を進めていくにあたり、有用な実績を積み重ねていただいております。

また、平成29年度から空白の医療圏であります五島医療圏の長崎県五島中央病院に、医師を派遣し、専門的な治療及び診療経験が少ない医師への指導等を担っていただいております。この取組が他の空白の医療圏に拡充されることは、離島地域におけるがん診療の資質の向上並びに、空白の医療圏の解消に寄与するものと考えております。

なお、長崎県では、医療機関の電子カルテを相互に閲覧できる体制の整備を進めており、今後、諫早総合病院内から離島の医療機関の電子カルテ情報の閲覧や遠隔画像診断等が可能となる体制の整備を進めております。この支援体制が全ての離島地区に拡充していくことは、諫早総合病院の取組を支援することに繋がり、本県のがん対策の推進に大きく寄与するものであると考えております。

空白の医療圏に地域がん診療病院の設置が可能となりましたが本県の場合、空白の医療圏が全て離島にあり、体制整備等に相応の時間を要することから、拠点病院等との連携によるがん医療提供体制なくしては質の高いがん医療の提供は実現困難であると考えております。既存のがん診療連携拠点病院をはじめ諫早総合病院を含めた連携体制を強化することで、離島地区との連携及びがん診療の質の高い均てん化の達成が早期に実現することが期待されます。

上記のとおり、本県のがん対策推進計画をさらに推進していくため、諫早総合病院をがん診療連携拠点病院に推薦いたします。

平成29年11月29日

長崎県知事 中村 法道



千葉県

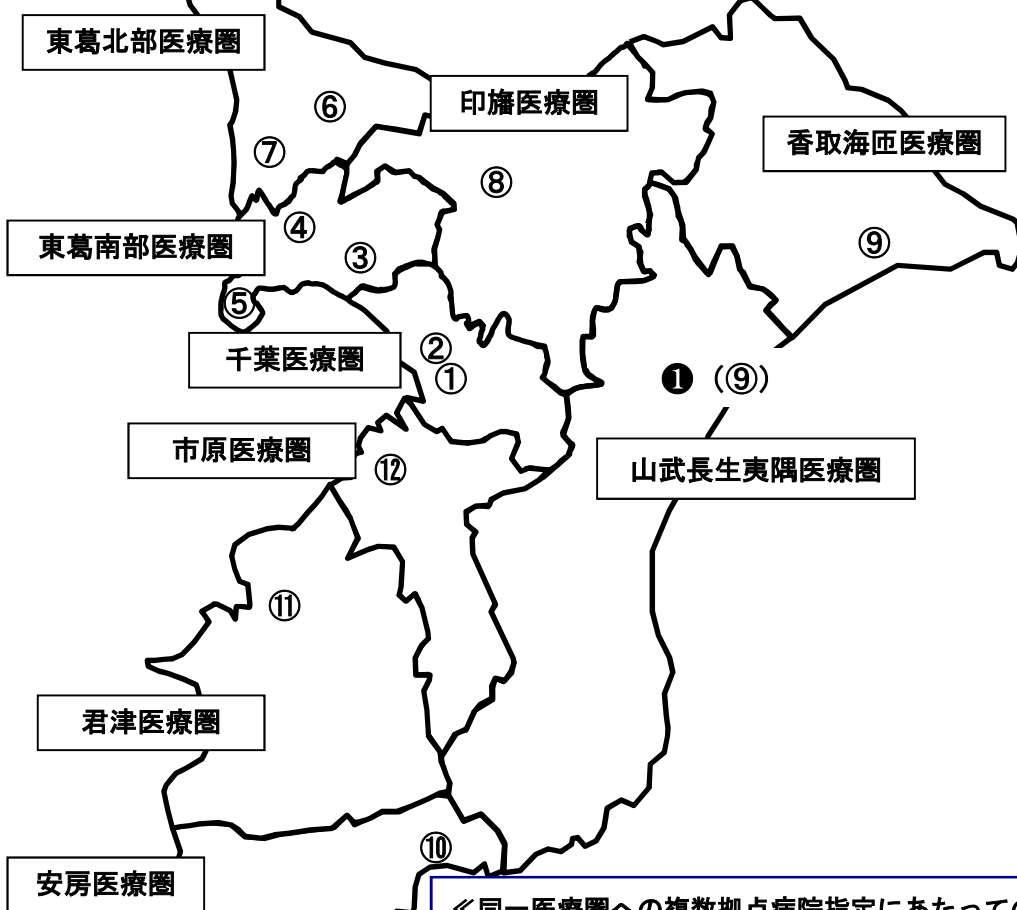
# 千葉県 2次医療圏の概要

平成29年9月1日現在

2次医療圏名	面積 (km <sup>2</sup> )	人口	人口 割合 (%)	人口密度	病院数	がん診療連携拠点病院			特定領域がん診療連携 拠点病院			地域がん診療病院			
						現況報告 病院数	今回更新 病院数	新規申請 病院数	現況報告 病院数	今回更新 病院数	新規申請 病院数	現況報告 病院数	今回更新 病院数	新規申請 病院数	
千葉	271.77	974,974	15.6	3,587.5	48	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0
東葛南部	253.81	1,766,338	28.2	6,959.3	61	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東葛北部	358.14	1,376,602	22.0	3,843.8	57	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印旛	691.66	714,434	11.4	1,032.9	29	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
香取海匝	717.47	273,349	4.4	381.0	21	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山武長生夷隅	1,161.75	425,638	6.8	366.4	23	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
安房	576.53	125,166	2.0	217.1	16	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
君津	758.22	325,750	5.2	429.6	19	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市原	368.17	272,840	4.4	741.1	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5,157.52	6,255,091	100	17,558.6	287	12	0	1	0	0	0	1	0	0	0

## 千葉県

## 平成29年9月1日現在の指定状況と患者受療動向



- ①千葉大学医学部附属病院（平成27年4月1日・現況）
- ②(独)国立病院機構 千葉医療センター（平成27年4月1日・現況）
- ③船橋市立医療センター（平成27年4月1日・現況）
- ④東京歯科大学市川総合病院（平成27年4月1日・現況）
- ⑤(学)順天堂 順天堂大学医学部附属浦安病院（平成28年4月1日・現況）
- ⑥東京慈恵会医科大学附属柏病院（平成27年4月1日・現況）
- ⑦松戸市立総合医療センター（平成27年4月1日・現況）
- ⑧(学)日本医科大学 日本医科大学千葉北総病院（平成27年4月1日・現況）
- ⑨総合病院国保旭中央病院（平成27年4月1日・現況）
- ⑩亀田総合病院（平成27年4月1日・現況）
- ⑪国保直営総合病院 君津中央病院（平成27年4月1日・現況）
- ⑫(独)労働者健康安全機構 千葉労災病院（平成28年4月1日・現況）
- ①さんむ医療センター（平成28年4月1日・現況）

※平成27年4月より都道府県拠点病院不在

《同一医療圏への複数拠点病院指定にあたっての過去の申請理由》

- 1 全ての県民に質の高いがん医療へのアクセスを確保するため、一定人口規模（概ね50万人）単位に拠点病院を整備
  - 2 該当二次医療圏における各拠点病院の役割分担に配慮（特に5大がん以外に得意とするがん種等を分担）
- 千葉医療圏：人口97万人。特定機能病院である①はがん医療のための人材育成や希少がん、②は食道がん、前立腺がんに安定した実績がある。
- 東葛南部医療圏：人口176万人。③は膀胱がん、前立腺がんを多く診療、緩和ケア病棟を有し、地域と連携。④は口腔がんセンターを有し、口腔がんや口腔ケアに対応。⑤は乳房、子宮頸がんを多く対応。3病院が連携し合同研修等を実施している。
- 東葛北部医療圏：人口137万人で県外からの患者流入も多い。⑥は白血病等の血液疾患を多く治療。⑦は卵巣がん、子宮がんの婦人科系がん治療に成果を上げている。

# がん診療連携拠点病院及び特定領域がん診療連携拠点病院

- ・ ( ) 内は平成28年10月末日提出の数値、下段は平成29年11月末日提出の数値
- ・ 申請区分は資料4の作成要領を参照のこと
- ・ 1枚につき11病院を超える場合には、複数枚にわたって表を作成してください。
- ・ ※1については、ESD+EMRの合計数を記載すること。

都道府県 or 地域 or 特定	申請区分	病院名	年間入院患者数の状況		院内がん登録		手術件数（臓器別手術件数は4ヶ月分）											がんに係る化学療法	放射線治療	診療の割合	緩和ケア	がん相談支援センター	
			年間新入院がん患者数	年間新入院患者数に占めるがん患者の割合(%)	院内がん登録数(年間) 500件以上	悪性腫瘍の手術件数(年間) 400件以上	肺がん		胃がん手術			大腸がん手術			肝臓がん								乳がん
							開胸手術	胸腔鏡手術	開腹手術	腹腔鏡手術	ESD+EMR※1	開腹手術	腹腔鏡手術	内視鏡手術	開腹手術	腹腔鏡手術	ラジオ波焼灼療法						
1	現況	千葉大学病院	(7,193) 7,517	(40.6) 40.1	(3,592) 3,946	(1,259) 1,760	(68) 62	(23) 22	(16) 14	(6) 4	(44) 50	(43) 27	(35) 16	(154) 133	(33) 35	(3) 0	(55) 54	(130) 141	(3,213) 3,207	(714) 706	(33) 35	(7) 19	(1,205) 1,155
2	現況	千葉医療センター	(2,496) 2,721	(26.3) 29.0	(1,154) 1,265	(969) 925	(2) 3	(31) 30	(13) 10	(9) 10	(19) 15	(19) 19	(26) 36	(21) 14	(6) 6	(0) 0	(27) 19	(46) 47	(1,746) 2,083	(183) 229	(17) 19	(40) 40	(185) 73
3	現況	船橋医療センター	(3,977) 3,110	(34.7) 26.2	(1,649) 1,649	(1,174) 997	(0) 0	(18) 17	(11) 21	(10) 11	(19) 15	(25) 26	(9) 13	(34) 3	(3) 1	(0) 1	(0) 10	(55) 71	(1,241) 1,024	(374) 302	(18) 14	(14) 6	(365) 223
4	現況	市川総合病院	(2,447) 2,747	(18.9) 20.8	(1,454) 1,223	(792) 1,006	(6) 5	(9) 14	(8) 5	(5) 4	(17) 20	(14) 18	(13) 16	(36) 12	(2) 2	(0) 0	(0) 1	(40) 31	(1,411) 1,642	(264) 287	(11) 13	(13) 24	(295) 301
5	現況	順天堂浦安病院	(3,488) 3,678	(19.4) 19.8	(1,447) 1,551	(959) 937	(0) 6	(22) 20	(3) 0	(20) 14	(21) 20	(1) 2	(44) 48	(7) 0	(1) 1	(1) 8	(8) 3	(41) 36	(1,049) 1,230	(542) 457	(16) 17	(22) 48	(72) 92
6	現況	慈恵大柏病院	(3,595) 3,926	(25.7) 26.6	(1,694) 2,253	(1,646) 455	(5) 1	(22) 36	(11) 8	(8) 16	(20) 19	(188) 14	(13) 9	(114) 109	(7) 3	(1) 4	(3) 0	(44) 31	(1,742) 1,763	(455) 413	(16) 17	(6) 19	(195) 183
7	現況	松戸総合医セ	(1,439) 1,789	(12.2) 15.1	(820) 837	(447) 456	(0) 0	(11) 6	(6) 8	(6) 6	(19) 21	(4) 6	(24) 19	(6) 47	(2) 2	(0) 0	(7) 7	(6) 14	(3,902) 3,865	(352) 352	(6) 8	(4) 7	(113) 93

# がん診療連携拠点病院及び特定領域がん診療連携拠点病院

- ・ ( ) 内は平成28年10月末日提出の数値、下段は平成29年11月末日提出の数値
- ・ 申請区分は資料4の作成要領を参照のこと
- ・ 1枚につき11病院を超える場合には、複数枚にわたって表を作成してください。
- ・ ※1については、ESD+EMRの合計数を記載すること。

都道府県 or 地域 or 特定	申請区分	病院名	年間入院患者数の状況		院内がん登録数 (年間) 500件以上	悪性腫瘍の手術件数 (年間) 400件以上	手術件数 (臓器別手術件数は4ヶ月分)															がんに係る化学療法 のべ患者数 (年間) 1000人以上	放射線治療 のべ患者数 (年間) 200人以上	診療の割合 当該2次医療圏に居る患者の診療の割合 2割程度	緩和ケア 緩和ケアチームに対する新規診療依頼数 (1ヶ月分)	がん相談支援センター がん相談支援センター相談件数 (2ヶ月分)
			年間新入院患者数	年間新入院患者数に占めるがん患者の割合 (%)			肺がん		胃がん手術			大腸がん手術			肝臓がん			乳がん								
			年間新入院患者数	年間新入院患者数に占めるがん患者の割合 (%)			開胸手術	胸腔鏡手術	開腹手術	腹腔鏡手術	ESD + EMR ※1	開腹手術	腹腔鏡手術	内視鏡手術	開腹手術	腹腔鏡手術	ラジオ波焼灼療法	乳癌手術								
8	現況	日医北総病院	(2,220)	(16.8)	(1,156)	(758)	(3)	(11)	(13)	(7)	(14)	(1)	(47)	(48)	(5)	(4)	(1)	(34)	(1,132)	(224)	(26)	(19)	(329)			
			2,353	16.7	1,232	938	7	13	15	14	12	5	33	23	3	2	0	23	1,084	212	28	27	275			
9	現況	旭中央病院	(4,190)	(20.5)	(1,968)	(1,594)	(33)	(2)	(31)	(5)	(45)	(27)	(22)	(37)	(22)	(0)	(12)	(39)	(1,811)	(432)	(70)	(6)	(762)			
			4,473	21.1	2,256	1,531	17	4	24	6	33	52	28	46	4	0	13	33	2,027	12,210	75	19	598			
10	現況	亀田総合病院	(5,484)	(26.1)	(2,391)	(2,351)	(17)	(25)	(24)	(7)	(53)	(3)	(37)	(34)	(0)	(4)	(14)	(176)	(7,122)	(746)	(91)	(38)	(450)			
			5540	26.2	2,512	2,292	16	22	19	10	34	7	41	16	2	8	16	154	6,111	787	92	18	534			
11	現況	君津中央病院	(2,546)	(17.4)	(1,104)	(539)	(1)	(18)	(16)	(2)	(25)	(34)	(16)	(9)	(4)	(0)	(12)	(27)	(702)	(208)	(71)	(3)	(226)			
			2,875	18.9	1,115	936	4	14	22	5	22	36	19	7	4	0	7	3	685	246	48	2	191			
12	現況	千葉労災病院	(3,069)	(27.7)	(1,180)	(718)	(1)	(25)	(19)	(1)	(18)	(2)	(40)	(5)	(16)	(0)	(2)	(36)	(2,104)	(196)	(51)	(10)	(182)			
			1,203	10.8	1,361	788	1	33	14	7	16	3	48	11	9	0	2	36	2,857	147	20	8	299			
13 ★	新規	千葉県がんセンター	(6,810)	(91.4)	(3,076)	(2,153)	(4)	(31)	(14)	(19)	(60)	(17)	(25)	(53)	(2)	(0)	(1)	(81)	(3,258)	(738)	(47)	(40)	(452)			
			6,223	91.6	2,774	1,928	13	26	24	14	74	16	35	50	3	0	1	81	3,180	634	43	38	505			

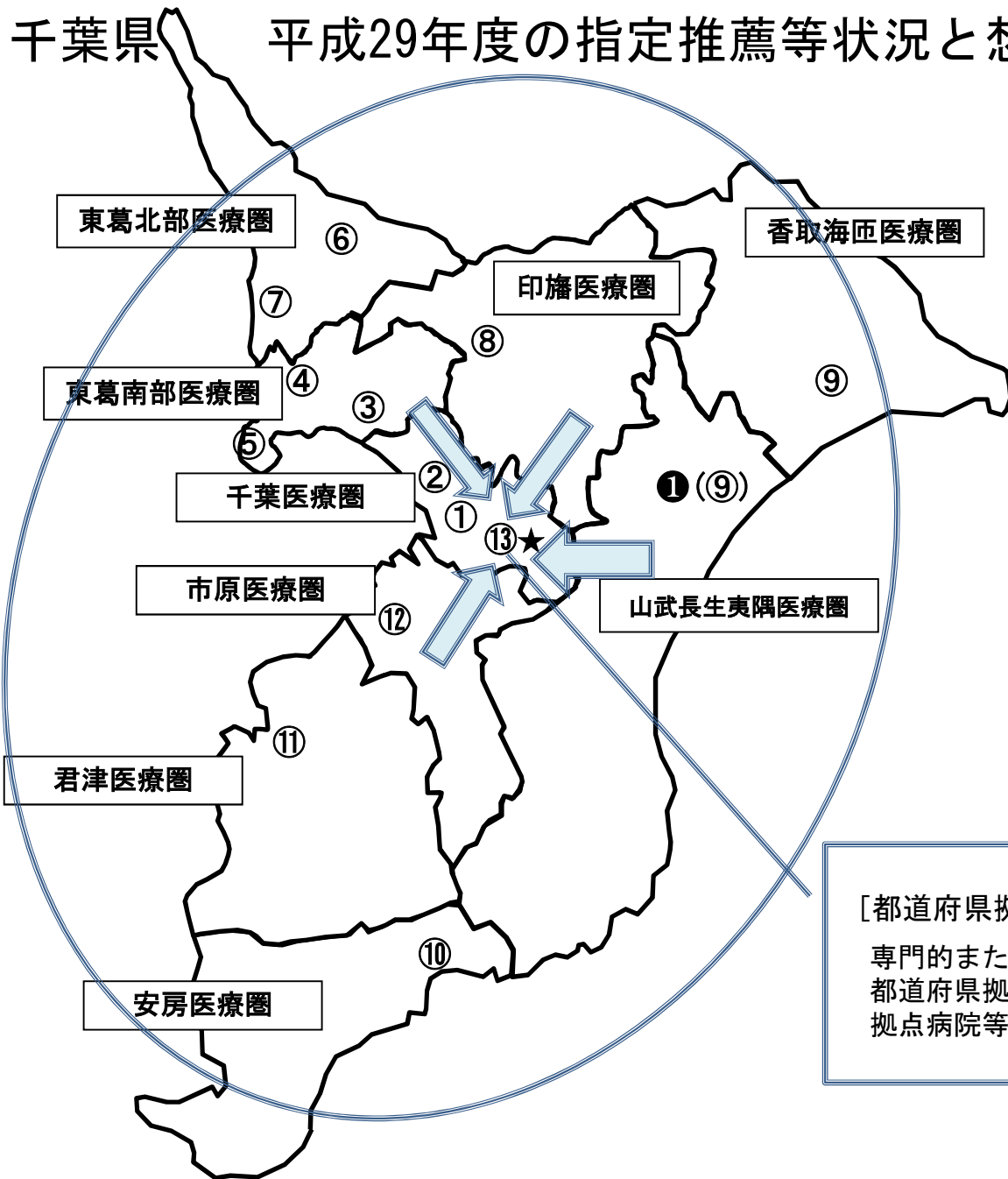
# 地域がん診療病院

- ・ 上段は平成28年10月末日提出の数値、下段は平成29年11月末日提出の数値
- ・ 申請区分は資料4の作成要領を参照のこと

申請区分	病院名	年間入院患者数の状況		院内がん登録	手術件数	がんに係る化学療法	放射線治療 (実施していれば)	診療の割合	緩和ケア	がん相談支援センター
		年間新入院がん患者数	年間新入院患者数に占めるがん患者の割合(%)	院内がん登録数(年間)	悪性腫瘍手術総数(年間)	のべ患者実数(年間)	のべ患者数(年間)	当該2次医療圏に居住するがん患者の診療の割合(%)	緩和ケアチームに対する新規診療依頼数(1ヶ月分)	がん相談支援センター相談件数(2ヶ月分)
① 現況	さんむ医療センター	(654) 607	(22.6) 19.3	(159) 170	(65) 59	(542) 370	実施なし	(27) 25	(0) 1	(45) 31

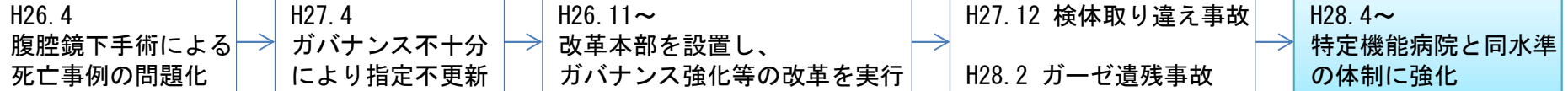


# 千葉県 平成29年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向



- ①千葉大学医学部附属病院 (現況)
- ②(独)国立病院機構 千葉医療センター (現況)
- ③船橋市立医療センター (現況)
- ④東京歯科大学市川総合病院 (現況)
- ⑤(学)順天堂 順天堂大学医学部附属浦安病院 (現況)
- ⑥東京慈恵会医科大学附属柏病院 (現況)
- ⑦松戸市立総合医療センター (現況)
- ⑧(学)日本医科大学 日本医科大学千葉北総病院 (現況)
- ⑨総合病院国保旭中央病院 (現況)
- ⑩亀田総合病院 (現況)
- ⑪国保直営総合病院 君津中央病院 (現況)
- ⑫(独)労働者健康安全機構 千葉労災病院 (現況)
- ⑬千葉県がんセンター★ (新規)
- さんむ医療センター (現況)

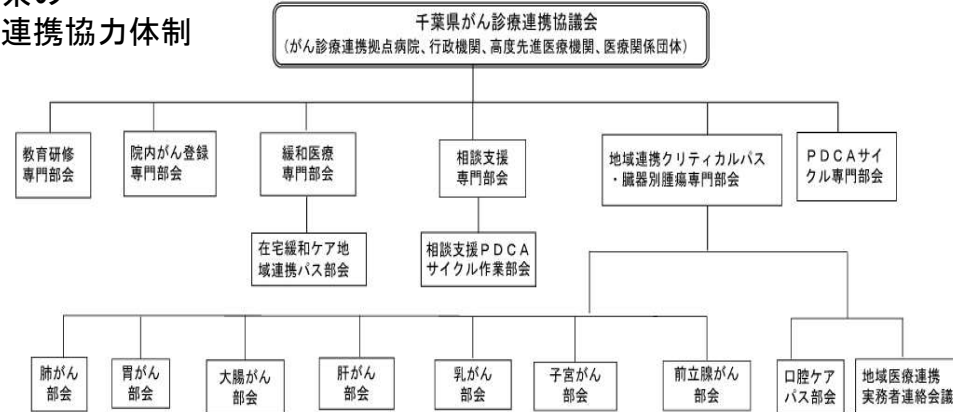
[都道府県拠点病院の新設] ⑬千葉県がんセンター★  
 専門的または高度ながん医療を必要とする全県の患者を、  
 都道府県拠点病院が中心となり、  
 拠点病院等と協力してフォローする体制を整備できる



## 【都道府県がん診療連携拠点病院 推薦理由】

- 県で唯一指定要件を充足
- 高度ながん診療機能と実績
  - … 拠点病院からの紹介患者数 H28年度1,014件、県内全域のがん患者を受入等
- 患者支援と併せてがん研究も推進
  - … 臨床研究総合センター・がんゲノムセンター等
- 県全体の診療連携協力体制に大きな役割を果たす
- 医療安全体制、ガバナンスの強化

## 千葉県の診療連携協力体制



## ガバナンス強化の取組

### ○事案の検証

- ・「千葉県がんセンター腹腔鏡下手術に係る第三者検証委員会」の設置 (H26.6~H28.3、計11回開催)
- ・報告書の公表 (H27.7)

### ○がんセンター改革本部の設置・改革の実行

#### <主な取組>

- 1) 組織ガバナンスの確保
  - … 医療安全管理委員会の権限強化 (H27.7)
- 2) 医療安全向上のための体制強化
  - … 新技術の導入実施プロセスの改善 (H27.7)
- 3) 患者の権利保障の強化
  - … インフォームドコンセント委員会の設置 (H27.3)
  - ・セカンドオピニオンセンターの新設 (H27.8)

### ○特定機能病院と同水準の体制整備

#### <主な取組>

- 1) 医療安全管理組織の強化
  - … 医療安全管理責任者として副病院長を指定 (H28.4)
  - ・医療安全管理室へ常勤医師・薬剤師の配置による体制強化 (H28.4)
- 2) 各部門における医療安全の取組強化
  - … 各部門のリスクマネージャーの増員 (H28.5)
- 3) 医療安全監査委員会の設置
  - … 外部委員7名による監査 (H28.10) → 報告書 (H28.12)
- 4) 医療安全に関する内部通報窓口の設置 (H29.3)
- 5) 高難度新規医療技術を用いた医療等提供規程の改定 (H29.8)

▶ 千葉県がんセンターの都道府県がん診療連携拠点病院指定により、今後求められるがん医療の推進に、安定した体制のもと、より一層効果的に取り組むことが可能

# 特定機能病院に求められる医療安全管理体制と 千葉県がんセンターの対応状況

医療法施行規則第9条の23第1項に定められた 主な要件		千葉県がんセンターの対応状況	対応 年月
一	医療安全管理責任者の配置	副病院長を指名	H28/4
二	専任の院内感染対策を行う者を配置	医師(専任)、看護師(専従)を配置	H19/4
三	医薬品安全管理責任者に医薬品に関する情報の整理・周知、 未承認薬の使用状況把握等を行わせる	医薬品安全管理責任者が未承認薬、適応外、禁忌等の処方に 係る確認及び必要な指導を実施	H28/4
四	説明(I.C.)に関する責任者の配置等	IC委員会を設置し、委員長が責任者となり、実施状況を確認	H27/4
五	診療録の管理責任者による診療記録記載の確認	診療記録管理規程を定め、診療情報管理室長が診療記録記 載を確認	H23/10
六	医療安全管理部門に専従の医師、薬剤師、看護師を配置	看護師(H19/4から専従)に加え、医師、薬剤師を専従配置	H28/4
七	高難度新規医療技術提供の適否等を決定する部門の設置、 順守すべき規定の作成等	未実証医療審査委員会(H27/7に設置)に加え、医療の質・安 全管理部を適否等を決定する部門とし、関連規程を作成	H29/8
八	未承認新規医薬品等使用の適否等を決定する部門の設置、 順守すべき規定の作成等	未実証医療審査委員会(H27/7に設置)に加え、医療の質・安全 管理部を適否等を決定する部門とし、関連規程を作成	H29/8
九	監査委員会の設置、監査の実施と結果の公表	千葉県病院局に医療安全監査委員会を設置し(H28/8)、監査 結果を公表	H28/12
十	医療安全管理のための全死亡症例報告と医療安全管理委員 会による報告状況の確認	全死亡症例報告を義務化し(H27/11)、医療の質・安全管理委 員会が報告状況を確認	H28/5
十一	特定機能病院間の相互立ち入り	特定機能病院でないため該当なし	—
十二	患者からの医療安全管理に係る相談への対応体制	医療の質・安全管理部を設置し、専従の医療安全管理者が患 者からの相談に対応	H19/4
十三	医療安全に関する内部通報窓口の設置	千葉県病院局に設置	H29/3
十四	医療安全に関する職員研修の実施	全職員対象研修の年2回実施に加え、TeamSTEPPS研修を導 入	H28/11
十五	医療安全管理責任者、管理者等の医療安全研修の受講	医療安全管理責任者(H28/5)、病院長(H28/5)が医療安全研 修を受講	H28/5
十六	医療事故発生時に発生日から2週間以内に事故報告書を作 成	千葉県病院局医療安全管理指針に基づき、医療事故報告書を 速やかに作成	H21/4